

	シーズ名	メンタルヘルス不調者の予測と適応因子
	氏名・所属・役職	神経精神医学・准教授・岩崎 進一 (IWASAKI, Shinich)
<p><概要> 近年職場でのメンタルヘルスへの関心は高まっており、2015年12月からストレスチェック制度が実施され、日本全国の企業の多くの就労者は今後継続的にストレスチェックを受けることになった。ストレスチェックでは1次予防を目的としており、メンタル不調のスクリーニングではないとされている。</p> <p>しかし、何度もメンタルヘルス不調により休職復職を繰り返す職員なども未だ多く、現状の対策ではメンタルヘルス不調や休職などはカバーし切れていないのが現状である。我々はストレスチェックや一般健康診断など多彩な調査データをもとに、メンタルヘルス不調者出現の予測や、うつ病、適応障害の発症またそれによる休職の予測因子として、ストレス、職場環境、背景因子と素因、環境要因の組み合わせによるストレスの軽減、増大、その関連を機械学習などの人工知能技術を用いて研究している。また休職中の生活記録表など、復職を推進し、精神的な不調を予防するため管理するアプリの開発などを行う。</p>		
<p><アピールポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 精神科専門医かつ産業医資格を持ち、企業の顧問医、産業医など職場のメンタルヘルスに関わる豊富な業務経験を持っている。 ● 一部上場企業を中心に多くの勤務実績、派遣実績を持っている。 ● ストレスチェックなどの今ある情報からメンタルヘルス不調を予測する事は資源の有効利用と生産性の増加を生むことが予測される。 ● さらに企業ではカバーできない、より臨床的な観点からアンケート調査など簡易な方法を用いメンタルヘルス不調の予測が行える。 		
<p><利用・用途・応用分野></p> <ul style="list-style-type: none"> ● メンタルヘルス管理、過労自殺の防止など企業のリスク管理 ● 健康教育(セルフケアとしての新人研修、ラインケアとしての上司研修、特定業務に対する精神科的対応方法、精神科一般疾病に対する知識の獲得ほか) ● 職場診断とアドバイスなど ● メンタルヘルス不調者の予測 ● 職場環境改善の提案 		
<p><関連する知的財産権></p>		
<p><関連するURL></p>		
<p><他分野に求めるニーズ> スマートフォンなどのアプリケーション開発技術 人工知能などの統計学的サポート</p>		
キーワード		